

未来の東広島市

黒瀬中学校

二年

山本

桜絆

僕は、もっと笑顔でいっぱい
の東広島市になつてほしいと思
います。そのために、どのよ
うに未来の東広島市がなれ
ば、よりよくなるのか具体的
に考えました。一つ目は、外
国の方が安心して暮らせる市
にすることです。東広島市は、
外国の方が多く暮らしていま
す。その外国の方々の中には、
母国との文化の違いに戸惑つ
たり、話を聞いてほしかったり
という声があるそうです。そ
んな外国の方が安心して暮ら
せる市にするためには、互いを
認め合ったり、学校行事等で
もっと外国の方と触れ合つた
りしたらいいと思います。そ
うすることで、外国の方の話
を聞くことができ、不安を解
消することができ、外国語や
文化を僕たちも学ぶことができ
るので、グローバルな学習にも
つながると思います。

二つ目は、交通機関の充実です。
現在の東

広島市の中心部は、公共交通機関が充実して
いますが、中心部から離れた僕の住む黒瀬な
どは、電車が通っていないし、バスの本数も
少ないです。公共交通機関がなくなったり、
運転免許証を返納したりしたら、買い物や通
学、通勤が困難になってしまいます。さらに、
公共交通機関の良い所は、環境に優しく、渋
滞の緩和や健康の増進まで図れることです。
環境に優しい理由として、バスであれば二酸
化炭素の排出量が自動車の約三分の一、電車
であれば、約六分の一で済むことが挙げられ
ます。そのうえ、公共交通機関を利用するこ
とで、マイカーの利用者が減少すると、道路
の交通量が減り、通勤時間帯などでの渋滞が
緩和されることに繋がります。また、徒歩で
の移動距離が短いマイカーに比べて、公共交
通機関を利用すると、バス停や駅からの移動
で歩く機会や距離が増えて、自然と日常的な
運動量が多くなり、健康増進を促します。だ
からこそ、東広島市の中心部だけでなく、東

広島市全域に公共交通機関を充実させ、若者から高齢者の誰もが生活しやすい市になってほしいと思います。

三つ目は、持続可能な環境を守っていくことです。そのために、SDGsにみんなで取り組み続けることが大切だと思います。例えば、電気や水を無駄遣いしないことが考えられます。そうすれば、温室効果ガスの排出抑制と地球の資源を守ることにつながります。

その他にも考えられることはたくさんあります。す。今まさに、自然災害が増えてきているなか、災害に備えることも大切です。自然災害はいつ起こるかわかりません。被害にあわない、または、被害を最小限に抑えるために、一人一人が万が一に備えておく必要があります。具体的な例として、大型の家具は位置や向きを工夫して配置し固定する、食料や水を備蓄する、家族だけでなく地域の方々とも安否確認の方法や、避難場所やその経路を確認しておくことが考えられます。他にも、持続

可能な環境を未来に残していく取り組みとして僕たちにできることはたくさんあると思います。

また、子どもが楽しく遊べる自然を生きかしたアスレチックや体験、公園をもっと増やせば、誰もが安心して暮らし、笑顔で交流し合える市になると思います。

こんな魅力も笑顔もあふれる東広島市になつてほしいと僕は思います。